



平成 24 年 11 月 9 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目1番1号
株式会社 アイフリーク
代表取締役会長兼社長 永田 万里子
(コード番号: 3845 大証 JASDAQ)
問い合わせ先 管理担当取締役 橋本 裕
電話番号 092-738-3800 (代表)
U R L <http://www.i-freek.co.jp/>

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、平成 24 年 11 月 9 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日）の通期業績予想数値及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（1）平成 25 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想（A）	3,111	0	0	0	0 円 15 銭
今回修正（B）	1,642	386	396	481	4,822 円 83 銭
増減額（B - A）	1,469	386	396	481	-
増 減 率	47.2％	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 3 月期）	2,033	374	366	407	4,657 円 28 銭

（2）修正理由

モバイルコンテンツ事業では、フィーチャーフォンからスマートフォンへのシフトが進むなか、当社主力事業である装飾メール事業において、従来のフィーチャーフォンでのキャリア主導の課金収益化モデルからスマートフォンにおけるフリーミアムモデルへのシフトのなかで、収益基盤の構築を進めており順調に会員基盤を構築しております。しかし、スマートフォン向けに新規に構築した事業に関して会員基盤の構築は順調であります。一部サービスでの広告収益の収益化が想定より遅れており、当初予想の売上高に達せず、営業利益ともに想定を下回る見通しとなりました。

E コマース事業においても、薬事法・景品表示法の運用規制強化やスマートフォン及びソーシャルメディアの拡大による消費スタイルの変化によって、新たなサービス競争が激しさを増しており、収益基盤再構築が急務となっております。このような状況において、当社オリジナル商品の開発による商品力強化に向けた取り組みや、決済サービスへの取り組みなど、大幅なモデルチェンジを図っておりますが、今期中での収益の回復に至らず、当初予測の売上高には達せず、営業利益ともに想定を下回る見通しとなりました。

また、平成 24 年 11 月 9 日付公表の「持株会社体制への移行に関するお知らせ」のとおり、平成 25

年４月１日を目途として持株会社体制へ移行に向けた準備のための費用の発生や、一部資産を取り崩すことを想定しており、今期の業績への一時的な影響が発生する見通しとなりました。

なお、新たな取り組みとして実施しているファミリーコンテンツサービスであるデジタル絵本アプリ「こえほん」が、引続きダウンロード数を伸ばしており、B2B モデルでのアライアンスなど、新たな収益基盤として売上高及び利益面への貢献が期待できます。

以上の理由により、平成 25 年 3 月期連結累計期間の業績予想を売上高 1,642 百万円、営業損失 386 百万円、経常損失 396 百万円、当期純損失 481 百万円に修正いたします。

２．配当予想修正

（１）配当予想修正の理由

平成 25 年 3 月期の中間配当金および期末配当金の予想につきましては、上記の業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、当初、当期の中間配当金および期末配当金の予想を未定と発表しておりましたが、中間配当金および期末配当金を無配と修正させていただきます。

（２）修正の内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 24 年 5 月 15 日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 24 年 3 月期)	—	250.00	—	150.00	400.00

以上